

第十一回実施計画変更ヒアリングコメントについて

2. 3号機原子炉格納容器ガス管理設備の 配管部材、機器ユニット固定方式変更に伴う実施計画の変更について

平成27年7月16日

東京電力株式会社



1. 本設備に対する抽気ガスの影響について

コメント「原子炉格納容器ガス管理設備において原子炉格納容器内気体を抽気しているが、現状における可燃性ガスの影響について説明すること。」

- 抽気ガスの監視及び格納容器内の不活性雰囲気維持の為、以下の運用をしている。
 - ・ 格納容器内に窒素封入を行い、格納容器内の不活性雰囲気を維持している。
 - ・ 本設備では実施計画25条（格納容器内の不活性雰囲気維持機能）に基づき、抽気ガスの水素濃度を常時監視している。
 - ・ 至近の水素濃度は燃焼範囲（4～75%）に対し、2, 3号機共に0.1%以下で推移している。
 - ・ 水素濃度が異常上昇した場合は設備保護の為、系統を隔離する。

【参考】至近の水素濃度の推移について（1/2）



【参考】至近の水素濃度の推移について（2/2）

